

吳市都市景觀形成基本計画報告書

抜粋資料

昭和59年2月

吳市

財団法人 都市計画協会

㊦ 設置施設

ゾーン名	基本的考え方	施設	内容・イメージ
出合いのゾーン	港に近く、また国道との交差する点であり、水、海、出合い、をテーマとして整備する。	海の広場	呉市が世界に誇る造船技術を装置やパネルによって紹介し、海の香りが楽しめる広場とする。
		海のモニュメント	巨大タンカーの錨、チェーン、スクリュー、舵輪、説明板
		セントラルプラザ	都市の中のオアシスとして“水と緑と文化の香り”をテーマとする広場であり呉市がこれから歩んでゆこうとする潤いある街づくりの象徴的空間を創り上げる。
		ホワイトデッキ	国道31号線及び駅前から良く見える位置に呉のシンボルとして白い帆船をイメージした歩道橋を設ける。また12月にはクリスマスデコレーションを施す。
集いのゾーン	図書館建設計画があり一体的なゾーンとして文化の香り高いゾーンとして整備する。	集いの広場	みなど祭り等の大きな催し物に対応できる場とする。
		アートポケット	2,000人ホール、図書館等と対面する位置にある広場であり、文化の香りあふれる広場として近代的彫刻を配置した彫刻広場とするとともに、市民アートギャラリーやカルチャーボードを設ける。
		カルチャーボード	道を歩きながらにして、呉及び周辺の文化情報を知ることができるように、アートポケットの所々に、ポスターボックスを設ける。
		市民アートギャラリー	市民の創作したポスターや写真、絵画等をここで紹介する。
憩いのゾーン	既存の樹木を生かし、緑豊かな環境の中で憩い安らげる空間として整備する。	こもれび広場	大木の梢からふりそぐこもれ日のもとで楽しく憩える広場とする。
		花の広場(フラワーテラス)	明るい陽だまりの中で四季の花が楽しめる広場とする。
		市民広場	呉市役所と中央公園へのアプローチ広場として位置づけモニュメント、TELBOX、案内板、トイレ等を設けた都市的な広場とする。
		赤ちょうちん通り	古くからこの地に根付いた屋台を都市のアメニティ空間を構成する要素として捉え、夜の賑わいのメインストリートを構成する。

ゾーン名	基本的考え方	施設	内容・イメージ
憩いのゾーン	既存の樹木を生かし、緑豊かな環境の中で憩い安らげる空間として整備する。	旧中央公園	静かなたたずまいの緑の空間で、現況と同様の利用形態とする。
散策ゾーン	既存の豊かな緑の活用を図るゾーンであり、周辺の建物に対する緑のスクリーンとしての機能を持たせるとともに、散策空間として利用する。	ジョギングプロムナード	周遊できるジョギングプロムナードを設ける。(1.6km)

図5-46 イメージスケッチ

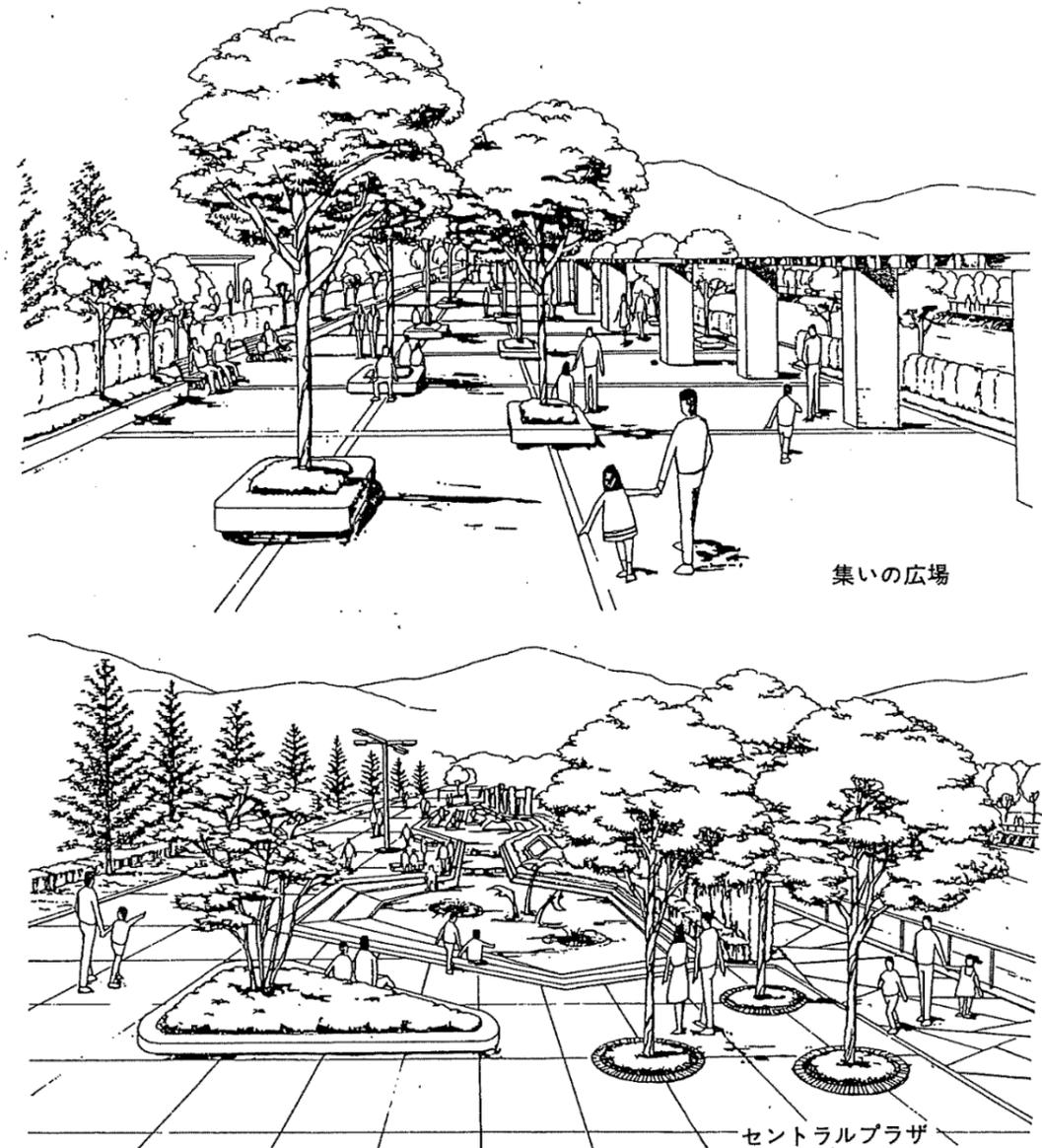


図5-47 基本計画図

